

いいだ 市議会だより

編集/市議会だより編集委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町 (TEL) 0265-22-4511

No. 163

平成 20.4.30



第1回 定例会

平成20年度各会計予算案を可決 飯田市議会の議員の定数を定める条例を改正



三遠南信自動車道飯田山本ICから天龍峡ICの間、延長7.2kmが4月13日(日)に開通しました。
全線開通へ向けて、飯田、下伊那地域の大きな期待が膨らむ新たな時代がスタートしました。
これにより、交通アクセスの利便性が向上し、名勝天龍峡の再生への期待が高まります。

定例会のあらまし

平成20年飯田市議会第1回定例会は、3月4日から3月26日までの23日間の日程で行われました。

本会議初日には、平成20年度の市政経営に向けて市長の所信表明がありました。この中で、「人材のサイクル」の構築を最大の課題とし、平成19年度からの第5次基本構想基本計画や地域自治組織といった新しい市政の枠組みを最大限に活かして、ダイナミズム(大きなうねり)の創出に全力を傾注することから、平成20年度の予算編成では、統合的アプローチによる総合的な事業展開を図ることと、限られた財源を選択と集中の視点から効果的に活用することを主眼に置い

て取り組んできたという方針の説明がありました。

今定例会では、代表質問と一般質問が行われました。会派の代表が行う代表質問では、市長の市政経営方針や主な政策に関し、各2時間の質疑答弁がなされました。また、一般質問では9人の議員がそれぞれの持ち時間の中で、一問一答方式により質疑答弁が行われました。

今定例会の議案は、市長から提案のあった議案54件と議会が提出した議案2件の計56件を原案のとおり可決しました。また、請願2件・陳情4件を所管の委員会審査しました。

議決のあらまし

平成二十年度 各会計予算案を可決

平成二十年度の一般会計当初予算案をはじめ、十七にわたる会計の当初予算案を可決しました。

◆一般会計の予算総額は、四百八億三千万円で、九億七千万円（対前年比二・四パーセント）の増となりました。

◆特別会計、公営企業会計予算の総額は、四百四十三億五十一万二千元で、前年度と比較して十四・二パーセントの減となりました。

平成十九年度一般会計補正予算（第五号）案を可決

平成十九年度飯田市一般会計補正予算（第五号）案は、所管する委員会の審査を経て本会議で原案のとおり可決しました。

今回の補正では、中心市街地の路上パーキング廃止に伴い、代替措置としてのグリーンベルト設置費用や、高松分院の解体と実施設計に関する市立病院への負担金などを追加計上した上で、総額では一億五千三百六十六万円を減じて、予算総額は四百九億七千四百四十八万二千元となりました。

飯田市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正

新しい議員定数を二十三とし、来年四月の選挙から施行となります。議論の内容と経過は前号の議会だよりに掲載しています。

平成20年度	一般会計	40,830,000（千円）
	特別会計・公営企業会計	44,300,512（千円）

可決した主な議案

飯田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

【建築確認申請等に係る手数料を改訂する。住民基本台帳カードの交付手数料を無料とする。】

飯田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

【国保税の徴収について、普通徴収の方法に加えて65歳～74歳の加入者世帯を対象にして老齢等年金から特別徴収を行う。後期高齢者医療制度の創設に伴い、国保税の算定に後期高齢者支援金等賦課金を合算する。】

飯田市後期高齢者医療に関する条例の制定について

【後期高齢者医療制度の創設に伴い、市が行う保険料の徴収等の事務について定める。】

飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制定について

【子どもの支給対象年齢を満12歳まで引上げ、精神保健福祉手帳1級所有者の所得制限の緩和、66歳以上70歳未満の低所得者への支給の廃止、自立支援施設に入所する障害者を対象とした住所地特例の導入に伴う改正、老人保健法の改正に伴う改正。】

飯田市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の制定について

【市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公費負担が制度化されたことに伴い、ビラの作成費用を公費負担とするための条例を制定する。】

同意した 人・事

飯田市公平委員会委員	篠田 健 ・ 高橋 巧	可決した 意見書	道路特定財源の確保に関する意見書
人権擁護委員の候補者の推薦	茂木立 好則 ・ 下平 澄瑞 北沢 孝臣		

請願の 審査結果 (受付順)

内 容	請 願 者	結果・対応
国に対し、森林環境税の創設と森林・林業・木材関連産業政策の充実を求める意見書を提出願いたい	南信地区森林労連 執行委員長	継続審査
国に対し、日豪EPA／FTA交渉に対する意見書を提出願いたい	長野県労農会議飯伊地区会議 議長	継続審査

陳情の 審査結果

内 容	陳 情 者	結果・対応
市に対し、一般競争入札における総合評価方式導入と共に、低入札価格調査の失格基準と最低制限価格の策定を願いたい	(社)長野県建設業協会飯田支部 支部長	趣旨採択
国に対し、三遠南信自動車道天竜峡インターチェンジ建設予定地の余剰用地の飯田市への払い下げと恒久活用策策定を求める意見書を提出願いたい	今村 眞直 氏	継続審査
国に対し、新保険業法の経過措置期間の延長と適用除外を求める意見書を提出願いたい	医療法人(社団)健和会 理事長	不採択
県に対し、老人医療費給付事業の継続を求める意見書を提出願いたい	医療法人(社団)健和会 理事長	不採択



平成20年度飯田市一般会計予算案等の審査

写真：飯田山本ICアクセス道路

三月十七日に開催された総務文教委員会では、本会議から一括あるいは分割付託となった十一件の議案審査を行いました。ここでは、その議案審査の概要をお知らせします。

飯田市手数料条例の改正議案には賛成と反対の立場から討論

Q 飯田市手数料条例の一部を改正する条例の制定に関し、住基カードの取得枚数と経費はどれくらいか。また、住基カードの利便性はなにか。

A 住基カードは千二百五枚発行した。人口比では二％、年間の経費は約六百万円であり、スタートからの累計経費は五千九百万円である。利便性については、各種証明書の発行・身分証明等に使用でき、また他市町村での住民票発行もできる。今後は、庁内でのような活用ができるか検討していく。

改正に反対の立場からの討論

住基カードの必要性を感じていない。経費も相当かかっており、無料化することによって普及させることには納得できないし、個人情報漏洩も危惧されるので第二案については反対

改正に賛成の立場からの討論

プライバシー保護、セキュリティについては、確立されてきたので心配無い。行政改革、電子化という面から積極的に進めてほしいと賛成

Q 平成十九年度飯田市一般会計補正予算案に関し、
①学校施設耐震化推進事業の状況はどうか。
②文化会館の今後の整備計画はあるのか、また改築計画はあるのか。

A ①耐震工事は一次耐震診断の結果を基に構造耐震指標（ I_S 値）の低い学校から進めており、平成二十二年完了を目指している。

②築三十五年経過しており緊急度の高い箇所の修繕をしている。毎年二千万円程度投入している。改築に関しては、当面学校の耐震化や庁舎建設もありその後に考えたい。

Q 平成二十年度飯田市駐車場事業特別会計予算案に関し、飯田駅西駐車場の利用率はどうか。また、利用率を高める工夫は。

A 駐車場の利用は、月極で年間三十台強を見込み、利用率は三十％弱である。周辺には民間駐車場もあり需要が少ない状況だが、周辺事業所に利用のお願いをしている。

Q 平成二十年度飯田市一般会計予算案に関し、
①市庁舎はいづところ建て替えを計画しているか。
②パワーアップ地域交付金の増額の要望はあるか。また、各地区でユニークな事業が増えるように、各地区の情報交換をしたらどうか。
③防犯灯の維持管理や新設の要望状況は。
④児童館・児童センター・児童クラブと放課後子ども教室の違いは。
⑤消防団員確保の課題について。



利用率アップが課題の飯田駅西駐車場

A ①平成二十年度早々に地層調査を実施した上で最終判断し、具体的な検討に入ることになるが、学校耐震化工事の終了するのが平成二十二年であるので、それ以降になる。

②一部に要望はあるが、発足して間もないので様子を見てからという状況である。

③地区には、一基当たり千円で維持管理を委託している。新設の要望には、基準を満たす箇所から順次設置しているが、今後はLEDタイプの防犯灯に切り替えていく。

④児童館等は、職員により放課後の留守家庭の子どもを安全に預かるもので、対象は小学三年生以下である。放課後子ども教室は、小学生全部が対象で、放課後の支援を地域のボランティアが担っている。

⑤団員一人当たり七万四千円ほどの手当てであるが、引き続き協力をお願いしたい。また、消防団協力事業所表示制度や職域消防を考え補完していきたい。



各種医療保険制度の変更に伴う条例案等の審査

写真：飯田山本 I C 料金所

三月二十一日に開催された社会委員会では、本会議から一括あ
るいは分割付託となった二十件の議案審査を行いました。ここで
は、その議案審査の概要をお知らせします。

四月スタートの後期高齢者医療制度に関連した

条例の改正等に議論が集中

飯田市後期高齢者医療に関する条例の制定に対し、反対の立場からの討論

後期高齢者医療制度は、七十五歳以上の高齢者に新たな負担を
強いるものであり、被用者保険の特例は国保加入者と格差が生じ
るなど矛盾する。また、支援金を若い者から求めることで、後期高
齢者との間にあらたな差別や摩擦を生み、将来の生活に不安をき
たし人口抑制につながる制度である。十分な説明がなく年金から
自分がいくら天引きされるかを知っている人は少ない状況でス
タートさせることも問題であり反対する。

Q 飯田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
に關し、国保税の算定で医療分と介護分の二区分から、後期高齢
者支援金を加えた三区分で徴収する理由は何か。また、年金か
らの特別徴収が大変問題だと思うが、飯田市でこの対象数はどれ
ぐらいか。また特別徴収しないことはできるのか。

A 今回、後期高齢者医療制度ができた背景には、高齢者と若
年者がそれぞれ負担すべきものを明確にするという趣旨がある。
そこで高齢者が十パーセント、若年者からは四十パーセントの負
担としてルール化し、各人が保険税でどれだけ負担しているかを
明確にした。

特別徴収の対象数は七百世帯と見込む。前期高齢者が約三千三
百世帯なので約二割が対象になる。地方税法に基づいて特別徴収
は行わなければならないが、個々の被保険者でみると、口座振替で
滞納が無く今後も納付が見込まれる方は、保険者の判断で特別徴
収しないことができる。

条例改正に反対の立場からの討論

国保税の特別徴収等に関し、後期高齢者医療制度の開始で、市民
があまり知らないうちに、六十五歳から七十四歳までの方の国保税
を年金から天引きすることや、後期高齢者支援金が国の進める病床
転換支援金に算入されること、また、被用者保険の被扶養者が特定
世帯にならないことなど、大変問題のある制度改正であり反対する。

Q 飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制
定に關し、子ども医療費給付で、新たに小学校一年から六年生ま
でを対象にするが市の負担はどれぐらい増えるか。

A 市の負担増は概ね四千二百万円を見込む。

条例改正に反対の立場からの討論

子どもの医療費無料化は歓迎するが、老人医療に關し県に同調は
反対する。七十歳から七十四歳までの医療費負担は、国民の反対す
る声で凍結になったので、これを受け止めて福祉医療費を継続すべ
きであり、反対する。

条例改正に賛成の立場からの討論

少子高齢化時代では、支え手と支えられる側のバランスを考え
なければならず、老人医療費給付事業は法的な整合性もあって廃
止もやむを得ない。できれば市の単独事業として全てを守ってい
ければ一番良いが、これからの少子高齢化の中で世代間のバラ
ンスをとるためにはやむを得ない判断だと考えて賛成する。

Q 平成十九年度一般会計補
正予算案に關し、平成二十年度に
向けての新老人保健施設の今後
の見通しはどうか。

A 厚労省と調整し、近々、除
却の許可が貰える見通しである。
予算は平成十九年度分なので繰
越をして、許可があれば早速解体
の処理をしたい。ただし解体は、
現在の老人保健施設「ゆうゆう」
の改修工事を終えてからになる。



解体予定の旧高松分院

Q 平成二十年度一般会計予算案に關し、日常生活用具給付事
業の火災警報機の設置は、平成二十年度に百五十台の整備予定だ
が、どのように取り組んでいくのか。

A 今までは一地区一台で毎年二十台程度の整備をしてきたが、
平成二十年度は拡大させる。具体的には独居高齢者を対象にし
て、当面は家に二台を整備する。また、来年度以降の取り組みは、
状況を見て検討していきたい。



写真：飯田山本 I C

平成20年度の一般会計・特別会計予算案等の審査

情報コーナー

グリーンベルト設置事業

従来の路上パーキングチケット方式による路上駐車に変わるものです。知久町(4箇所)、中央通り(6箇所)、銀座(4箇所)に新たに設置した緑に塗装された区間に、10時から19時までの間、無料で60分以内に限り駐車が可能になるというものです。

1台の駐車スペースは「りんご」のマークが目印です。

丘の上の買い物等では是非ご利用ください。

A 駐車チケットの発行はしないので駐車者のモラルが問われることになる。商工会議所や地元商店街と、利用状況を見ながら運用していく。

Q 平成十九年度飯田市一般会計補正予算案に関し、グリーンベルト設置事業に関し、『六十時間無料にする』というが、どうやって六十時間を計測するのか。

A 経営的に厳しい状態が続いている。十九年度は、南信州観光公社に経営分析を依頼し、その結果を受けて二十年度には、七ヶ月の経営期間中に、休業日をなくして収入増を図ることとした。事業費においては、従業員一名を減員し、アルバイトで対応するなどして経費削減を図りながら、経営の健全化に向けて努力したい。現在、林道御池山線の土石崩落箇所では、長野県により法面の工事が行われている。五月の連休前には完成する見込みである。

Q 平成十九年度飯田市上村しらびそ高原観光事業特別会計補正予算案に関し、毎年、一般会計からの繰り出し金があるが、何か対策はないか。また、平成二十年度予算案では、林道御池山線の土石崩落の影響から収入は、対前年比で三百万円ほどの減額見込だが、林道復旧の見込はどうか。

地域経済自立度七十パーセントに向けた
多様な事業の展開等に質疑

三月十七日に開催された産業経済委員会では、本会議から一括あるいは分割付託となった八件の議案審査を行いました。ここでは、その議案審査の概要等をお知らせします。



グリーンベルト設置事業 10時から19時まで60分間無料で駐車できます。

Q 平成二十年飯田市一般会計予算案に関し、
①雇用対策事業費だが、支出の具体的な内容は何か。また、この四月からいわれる『パート労働者法』が改正されるが、パート労働者の労働条件改善を念頭に事業を行っているか。
②ブランド化推進事業に関し、市田柿のブランド化は開始して既に二、三年が経過するが、現状はどうか。平行して進めている南信州牛へ軸足を移行していく見通しはあるか。
③ツアーツアープラン南信州ステージ開催負担金だが、今後の大会開催の見通しはどうか。

A ①雇用対策事業は、りんご庁舎で行っているジョブカフェ飯田と労働相談窓口の設置事業であり、ジョブカフェは若年層を対象として飯田市が対応しており、労働相談は一部飯田市が行うが、内容的に深いケースは労働基準監督署が対応することとなる。法改正については、既に市内の事業所を対象に説明会を開催し、制度の周知を進めている。

②市田柿はこれから生産基盤を整備すべき時期にあり、特に加工部門の衛生管理施設を中心に整備が必要であるため、今後事業は拡大傾向にある。一方で南信州牛は、プロモーションの過程では観光とも接点があるため、今後の展開によって拡大することが考えられる。
③ツアーツアープラン南信州は自転車の国際レースで、国内を転戦するステージレースである。飯田がコースとして地形的に恵まれているだけでなく、地域での受入れやおもてなしが、選手をはじめ、日本自転車普及協会等に非常に好評で、高い評価を得ており、長く飯田で開催してもらうことになっている。